



# 長門の話題

## Topics

### 第25回全国棚田(千枚田)サミットが長門市で開催

10月13日(日)、14日(月)の2日間、第25回全国棚田(千枚田)サミットが長門市で開催されました。基調講演では、明治大学の小田切徳美教授が関係人口と農山村再生について講演し、「地方創生をブームからムーブメントに移行しなければならぬ」と新しい農山村像の必要性を述べました。



▲基調講演を行った明治大学の小田切徳美教授



▲3つのテーマに分かれて分科会を開催

午後からは3つのテーマに分かれて分科会が開催され、それぞれパネリストが事例を紹介し、棚田の未来について真剣な議論が交わされました。また、今年で7回目となるアグリアートフェスティバルでは、「光の棚田」をテーマにしてデザインされた農作業着が発表されました。



▲芹那さん、我妻マリさん、はるな愛さんが特別ゲストとして出演

### 長門湯本温泉観光まちづくりがいよいよ最終段階に

10月4日(金)、長門湯本温泉観光まちづくりのプレス発表会が深川湯本の大寧寺で開かれ、県内外から多くの報道陣が詰めかけました。

発表会では、星野リゾートの星野佳路代表が登壇し、建設中の旅館「界 長門」が来年3月12日に開業するなど、施設の概要を発表。また、客



▲県内外から約40人近い報道陣が発表会に詰めかけた

室が報道陣に公開され、「御茶屋屋敷」をテーマとした内装が披露されました。

外湯施設「恩湯」は来年3月の開業が予定されており、岩盤湧出を活かした浴槽のほか、飲食施設「恩湯食」では、名産の鶏肉や豆腐を軸に地元食材を使った料理が提供されることが発表されました。



▲報道陣に公開された星野リゾート「界 長門」の客室

# 長門のPeople

## 市民参加によるSNSの発信がスタート

SNSを使って長門市の魅力をもっと発信しよう、「長門市シティプロモーション部」が10月4日(金)に発足しました。

長門市シティプロモーション部は、ふるさとの魅力を再発見し、それを地域内外に広めることで、ふるさとに誇りと愛着を持ち、この地域で暮らす人を維持していくことを目標としています。

部員は、一般公募で集まった17人で構成され、自営業者や団体制員、市職員のほか、ながと



## 長門市シティプロモーション部 (愛称：てとてとながと)

SNSを使った活動をしています。ぜひフォロー、いいね!をお願いします



てとてとながとで検索 [instagram アカウントはこちら](#) [Facebook ページはこちら](#)

## 旬な人



▲写真撮影講座に参加してスキルアップを図る

## 県内初の外国人の地域おこし協力隊に委嘱状を交付

10月1日(火)、ロシア・ソチ出身のフィリチャギナ・リーリヤさんが、地域おこし協力隊として着任しました。

リーリヤさんは、国際交流の推進やインバウンド誘客の促進に関する活動に取り組む予定で、「長門市とソチ市の関係を発展させたい」と意気込みを語りました。



▲長門市では通算15人目の地域おこし協力隊

## 森林資源と産業を学ぶ

林業や森林資源を学ぶことを目的とした「ながと型木育による教育プログラム」が10月3日(木)、日置中学校1年生を対象に始まりました。生徒は林業や製材加工場を見学し、木を使ったものづくりの現場を体験。この授業は12月まで行われ、木のおもちゃ作りなどが予定されています。



▲伐採の様子を間近で見学する生徒